

## 第10回 市民と議会の意見交換会（要旨）

### 【まちづくり常任委員会】

- 1 開催日 令和7年5月25日（日曜日）
- 2 会場 市役所委員会室
- 3 議題（テーマ）（1）観光資源と集客について  
（2）安心・安全で暮らしやすい街づくりについて  
（3）次世代の農業を考える
- 4 議員 4名  
増子達也、丸山孝博、渡辺秀敏、薄田 智

### 【午前の部】 参加者 3名

意見交換内容（主な発言）

「道の駅胎内について」

○参加者

胎内リゾートは期待した方向に向かっていないと感じる。市には100を超える魅力があるが発信しきれていない。道の駅胎内は捉えようによってはあそこほど大きくて多彩な道の駅はないと思う。

⇒議員

昨年10月に青森にある東北でナンバーワンの道の駅なみおかを視察した。地域の物産を重視して集客が図られている。道の駅胎内は観光の拠点となるが、物産の販売ができていない。地域の特産品や農産品を発信できる道の駅が必要だと思う。

⇒議員

道の駅なみおかには、リンゴ園が併設されていてとても賑わっていた。道の駅胎内は規模的に小さく物産もないので強化が必要だ。特に樽ヶ橋遊園やクアハウス、美術館などを結びつけることが重要だ。

⇒議員

全国で道の駅は1月末日現在で1,230駅と相当数ある。地域ごとの特性を生かした運営方法があると思う。地域の人々がどのように運営するのか、どのようなニーズがあるのか、道の駅の職員を含め市民全体で考える事が大事であると思う。

○参加者

樽ヶ橋エリア全体が道の駅に指定されているが、三角屋根の建物とその敷地が道の駅だと誤解がある。市の関係者でも誤解している人がいる。エリア全体を道の駅とした場合、売り出し方も違ってくると思う。

○参加者

道の駅は車で移動する人の休憩する場である。道の駅胎内は楽しみにして入った人ががっかりするのではないか。全国でみてもあんなところはまずない。他はもっと大きい。来場者がよるこんでもらえるようにするべきではないか。

⇒議員

宝くじ協会からの助成金で建設したため建物の用途に制限がある。そのため食堂は作れない。

○参加者

2024年度、2025年度の一般質問の項目を見ると、塩の湯温泉、ロイヤル胎内パークホテル、スキー場、奥胎内ヒュッテ、フラワーパーク、樽ヶ橋周辺施設、長池憩いの森公園、中条駅交流施設などのテーマが上がっていた。内容を確認すると聞いただけの質問もあり、意見があるものに対して、その後はどうなったかが見えてこない。具体的に言えば次のような意見があった。①塩の湯温泉で物販販売したらどうか。②道の駅胎内で大学と連携して商品開発してみてもどうか。これに対して具体的な発展はあったのか。

⇒議員

2025年3月議会でトレーニングセンターが使用されていないため物産館にしたかどうかと質問をした。答弁は、土日だけの地域の方の野菜販売ならば可能だが、常時物産館として使用することは出来ないとの事であった。私もその質問の際はそれ以上掘り下げることにはしなかったが、調べたところ補助金の対象となる期間が切れているため、他の用途として使うことも可能なようであった。洋上風力発電が稼働すれば観光客が見込めるため、市の売りにすれば良いと思い質問した。

⇒議員

「胎内の特産品がこれだ」というのが無いと感じている。せっかく新潟食料農業大学があり、開学から8年も経つので、新商品を開発することも必要だと思う。今、JA・市役所・大学が連携し、べにはるかの商品開発を行っているが、これだというのが出てきていない。我々議会としても応援していきたい。

「NKpjについて」

○参加者

昨年 NKpj（中条黒川プロジェクト）でマンダラチャートを発表したが、その感想は。また、実施するような声が聞こえてこない。言うだけではなく実施することが大切であると思うが実施予定は。

⇒議員

近日中に NKpj と議会との懇談会の予定がある。

○参加者

ぜひ実施予定を聞いてほしい。

「クアハウスについて」

○参加者

以前はプールに監視カメラがありフロントで見られるようになっていたが、今は見られない。プールの監視台に職員が上がらない事があり、以前注意したことがあった。また、フロントでカメラを見て監視台に上がっていない事を注意したことがあったが、その後、カメラの向きを変えてしまった。クアハウスでは1年間利用すると9万円かかってとても高い。職員に伝えたところ、観光客向けに行っており、市民使用で考えていないと言われた事がある。

⇒議員

対応した者は、指定管理者か、市職員なのか。事実であれば無責任な対応である。

「生涯学習施設について」

○参加者

生涯学習施設の建設候補地について色々な意見があるようだが、全員協議会の議事録を見たら、文教エリアが候補ではなかったかとの問いに、そこは統合中学校の候補地だから消去法でないとの答弁だったが、議員はどのように理解したのか。

⇒議員

旧体育館のところは文教エリアで候補地の一つであったが、全員協議会でそのような話があった。執行部と議論しながら決めていきたい。

○参加者

全員協議会の議事録を見たが、一部議事録に記載されていないようだ。嘉平山に統合中学校を持っていったらどうかの問いに、通学路に安全上の問題があるとの答弁だったはずだが。すっぱり抜けている。

⇒議員

私は確かに発言し答弁を受けたと記憶しているが、その後発言の撤回や議事録の削除依頼はしていない。

(※録音機器不調のため録音の中断があったことを議事録に記載した。)

⇒議員

統合中学校の候補地は、旧体育館、胎内小学校付近、ふれすぽ胎内付近の3つである。生涯学習施設の検討委員会で出た候補地は、嘉平山、中条駅周辺、ふれすぽ胎内周辺である。しかしこれだけで嘉平山でいいのかとも思う。市長は案がなければ議論が進まないと言うが、案が示された後で意見がかなり出たなという印象である。案が示されてからの市民の声としては、今の図書館周辺が良いとの意見が広がっている。3つの候補地だけで良いのかと思っている。嘉平山が良いという人は少ない。今すぐに結論を出すべきではない。45億はかかりすぎるとも感じている。

⇒議 員

旧体育館の跡地は統合中学校の候補地であり、今後空けておかなければならないと思う。現図書館に建設する声も聞いたが、市民の意見が大切だと思う。魚沼市旧小出地区にできた生涯学習施設を見学したが、4階建てで上の階へはスロープで移動ができ、縦に延ばせば狭い敷地でも広く活用できると感じた。駐車場は100台くらいで建設費は24億との事である。

⇒議 員

黒川地区の議員なので黒川にできればいいなと思っている。嘉平山は決して反対ではない。中学生、高校生の勉強の場として使用してほしいと思うが、学生が通うための公共交通機関が整備されていない。嘉平山は徒歩圏内というが、徒歩では遠い印象がある。また、車の運転ができない人の足はのれんす号やタクシーの利用となるだろう。はたしてそれで良いのかとも思う。交通弱者に対しての配慮が足りないため、その配慮がないと賛成できない。

【午後の部】 参加者 3名

意見交換内容（主な発言）

「胎内市の観光資源について」

○参加者

議員が認識している市の観光資源とは。

⇒議員

奥胎内エリアでいうと、スキー場、奥胎内ヒュッテ、フィッシングパーク、奥胎内の紅葉。樽ヶ橋エリアでは、胎内観音、道の駅、樽ヶ橋遊園、クアハウス。中条では、地本の水芭蕉の群生地。乙では、乙宝寺。築地は長池憩いの森公園、今後は洋上風力などがある。また、村松浜の海水浴場は砂浜が広くてとてもよい。近隣で広い砂浜がある海水浴場は少なく、今後の開発の余地があると思う。

⇒議員

浜茶屋がなくなったのが残念である。

⇒議員

浜茶屋がないのは来場者が少なくなる原因だと思う。市では砂浜があるのは村松浜くらいである。

⇒参加者

市の観光とした際、どこに行けば良いかピンとこない。すぐに分かるように発信すべきである。

「胎内市の集客について」

○参加者

どの程度の入込客数を目指しているのか。

⇒議員

100万人くらいである。（※胎内市観光振興ビジョンの観光入込客数は130万人）

⇒議員

胎内リゾートを中心として、乙宝寺、長池、塩の湯温泉、中条では奥山荘を中心に盛り上げていくしかないと思う。

○参加者

星まつりは日本でも最大規模で集客できていると思う。関係人口を増やすためには星まつりはいいモデルだと感じている。

⇒議員

3日間で2万人以上の集客がある。趣味の世界ではとても有名と聞いており、今後開発していければと思う。星まつり以外ではほとんど利用していないのではないか。

○参加者

新発田市でカルチャーセンターを借りて食のイベントを行っている。市でもイベン

トを行ったらどうか。キッチンカーなどもたくさん来てもらったら盛り上がると思う。

⇒議員

市は今年 20 周年記念行事を行うが、いまだに詳細がでてこない、11 月 1 日に行われるくらいしか情報がない。対応が遅い。今言われたような提案が間に合わないわけではないし、ただ記念行事を行うだけではなく、せっかくだから少しお金をかけてでもイベントを行い、市を全国にアピールするようなことをすべきだと感じている。テレビでも記念イベントを行っている自治体をよく見る。

⇒議員

市はやってない感が随分とでてきたなと思う。

⇒議員

のど自慢とか出張鑑定団とか、ラジオ体操とかやればいいのかと思う。

「胎内市の農業について」

○参加者

米は 2,000 円台には簡単にいかないと思う。主食用米を米粉や飼料用米に変更しているものを元に戻しても、米粉・飼料用米を当てにしている業界もある。増産してほしいと言っても、作り手も減り、種もみも足りないとも言われている。今までのやり方がだめだからこうなっているのだと思う。

⇒議員

中山間地の農地は全体の約 4 割である。中山間地の農業を切り捨てられる状況ではない。国は農業の大規模化を進めているが中山間地はなかなか進まない。中山間地の農業は高齢化や担い手不足、収支に合わないなどで継続できないのではないかと感じている。

○参加者

市の農産物はどのようなものがあるか。

⇒議員

チューリップ球根・切り花、ネギ、ずもぐり豆。

⇒議員

ずもぐり豆は手間がかかり作付する農家も少ないが、売りにはなる。

○参加者

今、球根は衰退の一途をたどっている。オランダからの輸入品に敵わない。

⇒議員

米粉に付加価値をつけて製品を作っていくべきだ。令和 6 年度のふるさと納税 26 億円 99%がお米で、市への収入の多くを占めている。さらに新しい市の特産品を作っていけば変わってくるのではないかと思う。

○参加者

自分が経営している店で地元のを扱いたいが、そもそもどのようなものがあるのかわからない。また自分の店だけでは消費は少なく、宣伝効果も小さい。それぞれの飲食店が鶏の半身揚げのような同じ商品を販売、提供できるような仕組みがあったら良い。商品も絞ったら効果的だと思う。米粉だけでは扱いつらさがある。

⇒議員

議員視察で秋田県の大潟村に行った。米粉は餃子に適しており、モチモチして良いと聞いた。

「市の中山間地の農業及び地域おこし協力隊について」

○参加者

職場が鼓岡であるが、お客様が口をそろえて担い手がないと言う。子どもは結婚すると黒川か中条に行ってしまうので、地域に子どもがいない。地域おこし協力隊が山間地域で活躍しているが、どのような成果があるのか。また次の担い手として期待しているがどうなのか。

⇒議員

市で一番初めに協力隊が入ったのが坂井集落だった。当時の活動の一つが朝市であり、その延長線上にそば処いちべえの運営もあった。朝市や蕎麦屋は今も運営している。本来の目的である地域活性化や地域間交流などには一定の成果があったと感じている。個人的には協力隊が地域に住んでほしいと思っているが、残念ながら定住には繋がっていない。これはどこかに問題があるのではないかとと思っている。しかし協力隊の存在は大きく、地域の力になっている。今後も続けてほしいと思う。

⇒議員

地域おこし協力隊は一つの事や地域だけに集中してしまい、市全体の事がおろそかになっていないか。

⇒議員

地域おこし協力隊同士の連携も取れており、他地域のイベントへ手伝いに行ったり来たりしているし、合同で協力しながら実施するイベントもある。また坂井集落では地域おこし協力隊が来てから子ども会の活動が活発になってきた。昨年末にはぬか窯で炊いたおにぎりを食べたり、今年の2月の塞ノ神の時はそり遊びなどを行った。

「自主防災組織について」

○参加者

防災士の資格があるので地域の自主防災組織の責任者に推薦された。はじめて責任者をするため、自主防災組織がどのような活動をするのかわからない。ある程度、市からこのような活動をしてほしいなど指針があると活動しやすいのだが。

⇒議 員

私も防災士の資格があり、地域の自主防災組織の一員だが、当自主防災組織の活動は年1回の避難訓練と備品の点検や購入である。

⇒議 員

自主防災組織に市から補助金を出している。防災資材の購入で初回は上限30万円で2/3補助、2回目、3回目は20万円、4回目以降は10万円の補助を行っているので、有効に活用してほしい。

○参加者

避難訓練はやっているが、それ以上の事ができるのだろうか。

⇒議 員

防災の専門家を呼んで研修会なども対応できるように検討してほしい。

(※)については、意見交換会終了後に確認したものです。